

# すみれ共同作業所 ニュース

第91号  
2023年1月31日

社会福祉法人  
大阪福祉事業財団  
すみれ共同作業所  
所長 藤原 民人  
〒五三六-0001  
大阪府城東区古市一丁目二三八  
電話(〇六)六九三四-四六〇七

## 事業内容

- ◆生活介護事業  
なかまの働く店  
「フレンドワーク」「うえるカフェ」
- ◆共同生活援助事業  
グループホーム  
「かえでの家」  
「わくわくホーム」  
「ぼぶら」「いぶぎ」「もえぎ」
- ◆「すみれ青年の家」  
「第2すみれ青年の家」
- ◆日中一時支援事業
- ◆居宅介護・重度訪問  
介護事業
- ◆移動支援事業
- ◆指定特定相談支援事業

新年あけまして  
おめでとうございませす

施設長 藤原民人



新年あけましておめでとうございませす。旧年中は大変お世話になり、誠にありがとうございました。

さて、昨年も新型コロナウイルスの影響を大きく受けた年となりました。作業所では、この1年の間で

利用者職員合わせて約70名が感染しました。ピーク時には様々な活動が制限されましたが、オンラインを活用した行事を行うなど、工夫を凝らして日中活動の充実を図ることが出来ました。また、利用者・家族の要望に応えワクチン集団接種を計画したり、第三者評価や人権研修に取り組みなど、支援の質の向上に努めました。グループホームでは、昨年のはじめになかまが感染し、高熱などの重い症状があっても入院できない時期を経験しました。職員は、コロナ禍で緊張感を維持しながら対応に当たるとともに、医療体制の脆弱さを実感する年でもありました。

また、昨年は障害者を取りまく大きな出来事も幾つかありました。一つは、障害者権利条約の国連審査です。審査を通して、障害者の暮らしは家族依存がまだまだ強いことを明らかにし、地域で障害者が安心して暮らせる場の整備が不十分であることを改めて浮き彫りにしました。日本政府には、障害者団体と十分に協力をし、改善することを期待します。

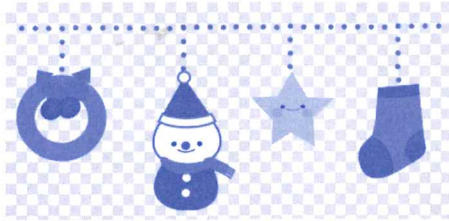
もう一つは、ロシアによるウクライナ侵攻です。障害者や社会的弱者が真っ先に犠牲となっていることが報道でも取り上げられていました。平和であることの大切さを感じるとともに一刻も早く終結するよう願うばかりです。その一方、政府与党は日本の防衛費をGDP費の2%にするという案を示しています。これは、防衛費が世界第3位となるほどの増額です。軍事費が増えれば私たちの暮らしが圧迫されるのは間違いありません。軍事費より暮らし優先の税の使い方をのぞむところですよ。

最後になりましたが、今年も新型コロナウイルスの影響が続きます。長引く流行と重症化率の低下に伴い、私たちの危機感も薄れつつありますが、決して油断しないように事業を進めていきたいと思えます。特に、施設の建替えはみんなの願いです。

新しい夢に向けて職員一同脱兎のごとく取り組んでまいりますので、本年もよろしくお願いいたします。



# みんなが主役のクリスマス会



## すみれ共同作業所 クリスマス会 2022



「クリスマス会を始めます！」元氣よく挨拶してくれたのは自治会役員のメンバーです。

12月23〜24日、昨年にかけてオンラインクリスマス会の始まりです。オンライン方式も2度目、なかまは、パソコン画面を通しての進行にも慣れたものです。ギター演奏のオープニングに続き、じゃんけんやクイズ大会と進みます。そしてお待ちかね、主役のなかまサンタの登場です。大きな袋を下げて各作業室に参上。うれしいお菓子のプレゼントをもらいました。昼食はクリスマスメニュー。お腹もクリスマス気分になりました。おいしかったです。ごちそうさまでした。



「スポーツだよ！全員集合！」上映会

さて、後半はギター演奏からスタート。楽しく歌いました。中でも、童謡「さっちゃん」の替え歌「なかまバージョン」は大いに笑いました。ラストは、自治会企画の『スポーツリレー』（タイトル「スポーツだよ、全員集合」）は、各作業室それぞれでいろいろなスポーツに挑戦した動画の上映会。みんなの生き生きした表情がとても良かったです。皆さんのご協力で無事終えることが出来たクリスマス会でした。ありがとうございました。

(長瀬)



きゅうりょうはね  
たくさんほしいんだほんとはね  
けど しごとないから ステッ  
ブルたくさんするんだよ  
くぎほしいな そのださん



# きょうされん活動の内容

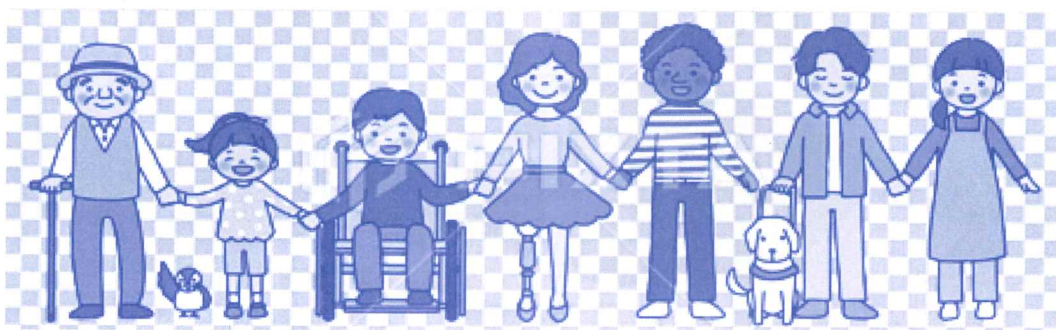
2022年のきょうされんは9月30日～10月1日にかけて3年ぶりとなる対面での全国大会を開催しました。大会に参加する前から検温を行い、大会本番でも係の人が検温・消毒をする、会場では人との距離を開けてマスクをするなど感染対策をしっかりとしたうえで開催となりました。今回は岩手県陸前高田市が開催地となりました。全国各地からなかまを合わせて1400人が集まりました。東日本大震災から11年がたち、当時の様子やその後の障害者の生活などを話していました。オンラインが主流となっている中で、私自

身きょうされんの活動に初めて対面での参加でしたが、画面越しでは伝わりにくい雰囲気や意見を言いやすい環境をしっかりと感じる事ができました。改めて集まってくると顔を見て行う活動の大切さを知りました。

今年度も全国請願署名の時期がやってきました。今回で46回目を迎えました。今回は4つのことを請願項目としています。①優生保護法問題の全面解決を図り、優生思想をなくすことに力をつくしてください。②新型コロナウイルスから障害のある人の命と健康、障害児者事業所の安定した運営

を守る。③物価高で大きな影響を受けている障害のある人の生活と、障害児者事業所の運営を守る。④障害のある人が65歳になっても、必要な支援を自ら選んで、費用負担がなく利用できるようにしてください。以上の4つが今回の請願項目となっています。1面にも書いていますが、8月の国連の審査で国は障害のある人に対しての大幅な制度の見直しを勧告されています。この問題に真摯に向き合い、すべての人が暮らしやすくなるような制度を作るためにも、署名にご協力をお願いいたします。

(中谷)



## ● 大阪福祉事業財団後援会 ●

お申し込みは

年会費／個人 3,000円  
 団体 10,000円

郵便振込／  
 大阪 00900-3-14013

すみれ共同作業所 又は  
 大阪福祉事業財団  
 後援会事務局 まで  
 ☎06-6931-2983

## 「福祉のひろば」のご案内

ご購入を希望される方は、すみれ共同作業所までご連絡をお願いいたします。

五五〇円(税込)





# みんな揃って、 初出を祝う

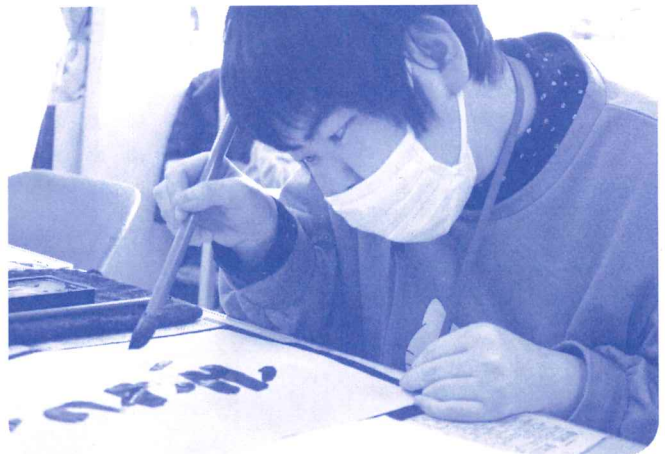
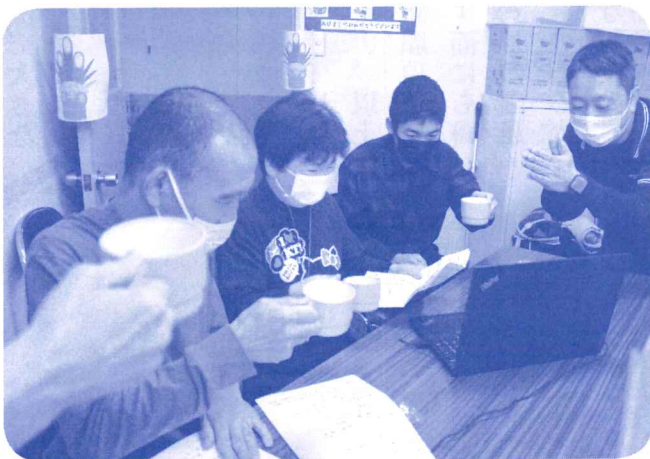
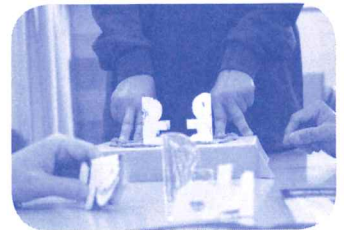
明けましておめでとうございます。

1月5日、新年になって初めての行事となる初出の会がオンラインで行われました。司会は、利用者の自治会役員が努め、藤原施設長と一緒に乾杯の音頭をとりました。

まず、最初は藤原施設長から「何よりも健康に気をつけて兎のように飛躍できるような年にしましょう」と挨拶があり、その後、乾杯役の利用者の元気な声と共にみんなで乾杯をしてお菓子やジュースを頂き新年のお祝いをしました。続いて、年男・年女の利用者から今年の抱負の発表がありました。「仕事頑張ります」や「(自治会)役員になりたいです」などと頼もしい抱負を聞くことが出来ました。

温かい雰囲気の中、初出の会はお開きとなりましたが、午後からは、書き初めや新春・紙相撲大会などのお正月らしい取り組みがあり、大いに盛り上がり賑やかに一年がスタートしました。

(宮崎)



## 季香



大変なことが続いた年がやっと明けて、飛躍を願うウサギの年がやってきました。コロナ対策そっちのけで、カジノだ、万博だ、と知事が血道をあげている大阪では、また、感染拡大の第8波が猛威を振るい、赤信号が出る始末となっています。一体どの誰の為の政治なのか？岸田内閣による、底なしの軍備拡大も同様です。国民が食うに事欠くほど困っているのに、『平和の為もつと税金を出せ』とは、あまりにも本末転倒。しかし、国民が願う政治を実現させるのもまた国民です。作業所の年女年男がなんと16人もいました。皆でなら、この大波もピョンと乗り越えることができると信じています。手を繋ぎ、手を繋ぎ、平和や人権が守られる、そんな世界に変えていきたい。(小倉)